



たか れど

過去を知り、
未来へ進む。

特集
病院フェスタレポート

病院の歴史
地域と歩んだ 80 年

栄養課のレシピ
白菜のミルクスープ

老健・介護医療院
備える力が支える力。災害訓練

患者満足度調査
みなさまの「声」をお聞かせください

講師派遣
専門職による出前講座

VOL

06

The 2026 January issue



日赤名誉総裁である皇后陛下雅子さまから、
当院老人保健施設及び介護医療院の
入所者に、日本手ぬぐいが下賜されました。

病院フェスタ開催レポート

開会式・セレモニー

本イベントは、梶本和宏院長の開会宣言、吉田一多町長、生安衛日赤兵庫支部事務局長によるご挨拶から厳かに幕を開けました。続くオープニングセレモニーでは、「中町中学校吹奏楽部」による清々しい演奏を皮切りに、「あまのじゃく」による華やかなパフォーマンス。さらに、迫力に満ちた「和太鼓衆 響」の演舞、そしてダンスチーム「カパーフラオカイリマレイアーピキ」による優雅なフラダンスが披露され、来場された皆さまに多彩なステージをお楽しみいただきました。



災害救護ブース

院外イベントの災害救護ブースでは、衛星電話の展示やAED 蘇生の体験、非常食（α米と味噌汁）の試食など、もしもの時に役立つ体験が盛りだくさんでした。また、救護に関するクイズコーナーでは親子で挑戦する姿が見られ、献血ブースでは仕組みについて分かりやすく紹介しました。



ボランティアブース (紙芝居・輪投げゲーム)

当院でボランティアをしていただいているNPO法人「じ〜ば」様と「多可日赤応援隊」の皆様が紙芝居の読み聞かせや輪投げゲームを行っていただきました。子どもから大人まで多くの方に楽しんでいただき、和やかな雰囲気の中で、地域の方々と温かい交流が生まれる場となりました。

笑顔あふれる
交流の場に



楽しく学んで
不安も解消！

お菓子分包体験・ お薬相談コーナー

薬剤師による「お菓子分包体験」は、実際の分包機を使いながら楽しんで学べる人気のコーナーとなりました。あわせて、お薬相談では服薬方法や薬の飲み合わせについて気軽に質問でき、日ごろの不安解消にもつながりました。

バスボム作り・魚釣りゲーム

子どもたちに人気のブースで、色とりどりのバスボム作りや魚釣りゲームを楽しんでいただきました。笑顔あふれるにぎやかなコーナーとなり、ご家族で参加される方も多く見られました。

ほつれひと息、
心まで軽く



身近なまちの保健室・ 眼科相談ブース

看護師による健康相談を実施しました。実際に血圧などを測定し、悩みを相談していただきました。また、認知症チェックパネルなどを体験していただいたことで、受診につながった方もいらっしゃいました。



かむ力を測定しよう

咀嚼回数で色が変わるガムを使って噛む力の状態をチェックし、測定結果に応じたアドバイスをお伝えしました。健康な食生活や口腔機能の維持について興味を持たれる方が多くみられました。



こども写真館 たか坊・ふう子・ ハートラちゃんと写真撮影

こども写真館では、救護服や看護師のユニフォームを着用して、思い出の写真を撮っていただきました。また、多可町公式マスコットの「たか坊」と「ふう子」、日赤公式キャラクター「ハートラちゃん」も登場し、たくさんの方が笑顔で交流され、イベントがいつそう華やかになりました。



ハンドマッサージ

ハンドマッサージのブースでは、優しい手技とオイルで手元をほぐすリラクゼーション体験を行いました。「気持ちよくて癒された」「リフレッシュできた」と好評で、ひと息つける人気コーナーとなりました。





Hospital History

1945・1948

柏原赤十字病院中町分院として発足

昭和 20 年 11 月 柏原赤十字病院中町分院として、多可郡中町中村町 204 番地の地に発足。

昭和 23 年 12 月に中町赤十字病院として独立しました。

地域と共に歩み続けて

1975

病院の移転・建替え

昭和 50 年 8 月に現在地に新築移転。以降、増改築を繰り返して現在に至ります。



移転当時の病院

80 年



1988・1993

全国で最初の老人保健施設を開設

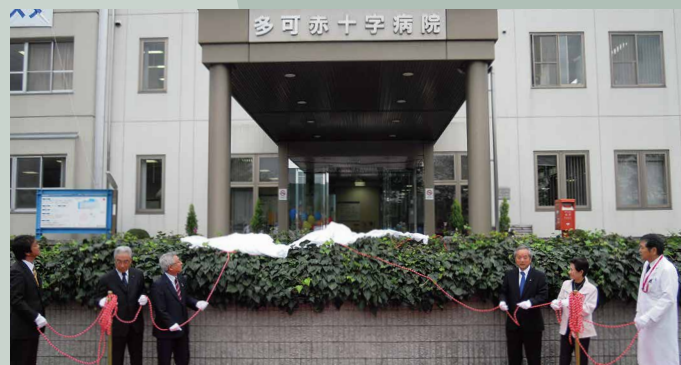
昭和 62 年 2 月、国から老人保健施設のモデル事業の指定を受け、病院建物の一部を改修し、翌年 4 月 1 日に全国で最初の老人保健施設として本格施行。平成 5 年 4 月に老人保健施設を新築移転しました。

2010

多可赤十字病院へ名称変更

平成 22 年 10 月に、多可赤十字病院へと名称を変更しました。

令和 4 年 2 月、老人保健施設の 2 階を改修し、介護医療院を開設。



病院フェスタで新病院名披露

2025

創立 80 周年

地域と共に歩み続けて 80 年。これからも皆様の健康を支え続けます。

野菜とミルクで、体の中からあたたかく /

白菜のミルクスープ 栄養課からの栄養豊富なレシピメニューをお届け

毎日寒い日が続いています。

去年は夏から冬へ急激な切り替わりでインフルエンザ也大流行しました。

日頃から栄養を取ってしっかりと体調を整えておきましょう。

寒い季節に体を温める手軽でおいしい一品をご紹介します。



子供からシニア世代まで
食べやすい味つけです。
手軽に野菜と牛乳で栄養補給
しながら温まりましょう。

材料（2人前）

白菜	200g	玉ねぎ	小 1/2 個
人参	60g	しめじ	40g
		ベーコン	40g

● スープ

水	200ml	コンソメ（固形）	1 個
牛乳	200ml	塩コショウ	少々
ブラックペッパーやパセリ	適量（お好みで）		

- ① 白菜は 1.5 cm幅にカット、人参はいちょう切り、玉ねぎは薄切り、ベーコンは2cm 幅にカット。
- ② ベーコンを先に炒め、残りの野菜を炒める。
- ③ 白菜がしんなりしたら水、コンソメ、塩コショウを加えて 10 分程度煮る。
- ④ 牛乳を加え沸騰直前で火を止め完成。

備える力が、支える力になる。 停電を想定した災害訓練

災害はいつ起こるか分かりません。だからこそ、日々の備えや様々な災害を想定した訓練が大変重要です。

この度、老人保健施設及び介護医療院で行った停電作業に合わせ、当施設では、災害時における停電訓練を実施しました。訓練では、初動対応、食事の準備、非常電源を用いた医療機器への電源供給等の実動訓練の場としました。

停電発生後、生命に関わる医療機器から電源接続を開始し、正常に作動しているか確認作業を実施していきました。

また、食事面においては施設の厨房が使用できない想定で、管理栄養士が中心となり、併設の多可赤十字病院の厨房から昼・夕食の搬入を行う訓練を行いました。



自助・共助・公助。まずは自分たちでできる事を最優先に考え、利用者の生命を守りながら自分たちの安全も確保できるよう、今後も定期的に訓練を実施していきます。

また、災害時の福祉避難所としての機能を発揮できる体制づくりを確立し、有事の際に地域住民の皆様の拠り所となれるよう努めてまいります。

みなさまの「声」をお聞かせください

患者満足度調査

患者サービスの向上を目指し、下記日程で患者満足度調査を実施いたします。

日頃感じておられることやご要望など、率直なご意見をお聞かせください。

ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

実施期間 令和8年1月20日(火)～2月20日(金)

実施場所 外来・病棟

実施方法



アンケート用紙で回答
(実施期間中、
院内に場所を設けます)



スマートフォンや
タブレットから
QRコードを利用して回答

講師派遣

”知りたい“に答える出前講座。
医療のプロが、あなたの地域へ。

多可赤十字病院の講師派遣

病院に勤める専門職だからできる

あんなお話

や

こんなお話

病院で日々現場に立つ専門職が、皆さまのもとへお伺いし、健康・医療・子育て・仕事・介護など、暮らしに身近なテーマをわかりやすく、実践的にお伝えします。

専門的な内容も、年齢や立場に合わせてやさしく解説。「ちょっと聞いてみたい」「今さら聞けない」そんな疑問にも丁寧にお応えします。

例えばこんな講話ができます。

- 地域の集まり・自治会・サロンでの健康講話
- 保育園・学校でのお仕事紹介や子ども・保護者向け講座
- 企業向けの健康づくり・メンタルヘルス・生活習慣病予防
- 医療・福祉施設での専門職向け研修・勉強会



「こんな話をしてほしい」「この年代に合った内容が知りたい」など、ご要望に応じて最適な専門職・テーマをご提案いたします。

内容が決まっていなくても、お気軽にご相談ください。

医療社会事業課 ☎ 0795-32-3810 (地域医療支援センター直通)



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

多可赤十字病院

〒679-1114 兵庫県多可郡多可町中区岸上280

Tel. 0795-32-1223 (代) Fax. 0795-32-0652 URL. <https://www.taka.jrc.or.jp/>



公式 HP



Instagram